

発議第1号

議会への誠実な説明責任の履行と、市当局の  
主体的な政策形成を強く求める決議案

議会への誠実な説明責任の履行と、市当局の主体的な政策形成を強く求める決議をするものとする。

平成29年6月29日提出

提出者 和歌山市議会議員

遠藤 富士雄

吉本 昌純

中尾 友紀

姫田 高宏

山本 忠相

山野 麻衣子

議会への誠実な説明責任の履行と、市当局の  
主体的な政策形成を強く求める決議案

今議会に、連携中枢都市圏構想に関する調査、検討のために要する経費が計上され、所管する常任委員会の審査において種々議論があったところである。

そうした中、6月26日の一般報道において、総務省が、連携中枢都市圏を目指す地域として、全国では本市を含む2市の支援を行うことを決定したとの報道がなされ、本市が連携中枢都市圏構想に対しても積極的な姿勢を示し、本事業を推進するかのごとく伝えられた。

しかしながら、総務省の報道資料によれば、そうした内容の資料提供は6月23日付となっており、本件を所管する常任委員会では審議の最中であり、常任委員会として、今後、審査を深めるとしているにもかかわらず既成の事実として本構想を進めていこうとする市当局の姿勢には憤りを覚えるものである。

このような市当局の姿勢を見るにつけ、今後、想定されるであろう「連携中枢都市宣言」や、議会議決を要する「連携中枢都市圏形成に係る連携協約」を踏まえれば、議会審査に大きな混乱を来すであろうことは火を見るより明らかである。

以上のことから、いま一度、市当局に対し、議会への誠実な説明責任の履行と、市当局の主体的な政策形成を強く求めるものである。

以上、決議する。